



## ボン・聖マルティン

### ミュンスター聖堂



ミュンスター聖堂は13世紀にボン市の公式印璽の図柄に取り入れられて以来、この都市の象徴となっています。この町の風景が大幅に変わった今も、ミュンスター聖堂はボン市の景観に強い影響を与えています。今日のミュンスター聖堂は、ボン市の守護聖人で、殉教者カシウスとフロレンティウスの二人の墓の上に築かれました。ローマ時代後期の小さな礼拝堂がライン地方最初の大規模な教会建築になるまでの歴史は、途切れ無くたどることができます。

現在の建物は、主に、11世紀から13世紀にかけての盛んな建築活動によるものです。ここではロマネスク様式とゴシック様式が溶け合い、稀に見るハーモニーを織り成しています。19世紀後半および20世紀に製作された、主としてバロック様式の装飾も、空間にうまく調和し、ミュンスター聖堂独特の、訪問者を包み込んで安心感を与える雰囲気醸し出しています。

では聖堂内をご案内しましょう。幾つかの見所にご注目ください  
(内側のページをご覧ください)  
最後に、多くの人々といっしょに祈りをささげる時間をいただければ幸いです：

主よ、私はあなたの数多くの子供の一人としてあなたの前に立ちます。

混乱から抜け出し、あなたにすべてを委ねます。大きな手のひらに横になるように、私はあなたに身を任せます。あなたが私を聞きとげてくださるようと声を出す必要はありません。私が必要とするものを数え上げる必要もありません。ただ私はあなたのみ前に立ち、私のため、人々のため、全世界のため、あなたの祝福を祈ります。

- アーメン

#### 私たちのミサにどうぞ：

土： 9時 (地下聖堂)  
日： 10時、12時と18時30分  
月～金： 9時 (地下聖堂)  
12時15分 昼の祈り 聖歌隊席  
18時

赦しの秘蹟を受けたい方のために、以下の時間に司祭がいます：  
月～金 16時～17時45分  
土 11時～13時、16時～17時

司牧者との対話を希望される方は、司祭執務室までお問い合わせください。司牧者をご紹介します。



#### 連絡先：

Kirche in der City  
Kath. Münsterpfarramt St. Martin  
Gerhard-von-Are-Straße 5 | 53111 Bonn  
Tel: 0228/98588-10 | Fax: 0228/98588-15  
pfarbuero@bonner-muenster.de  
www.bonner-muenster.de

あなたが訪れた教会は、  
神について語ります…  
神の民について、  
私たち皆について、  
私たちの過去について、  
そして、私たちの未来について。

街なかの教会

## 聖マルティン

### ミュンスター聖堂

ボン



日本語



## 訪問者の皆様へ

あなたは街なかの喧騒から、その真只中にあるこの静かな空間に入りました。



ドイツ最古の教会のひとつ、ミュンスター聖堂へようこそいらっしゃいました。くつろぎ、憩い、瞑想、そして祈りのひと時をお過ごしください。



早朝7時から夕方19時まで、ここで人々は祈りを捧げ、信頼をこめて神に近づき、救いを求めます。聖堂自体の姿と、信仰の証として作られた芸術品の数々は、自らの信仰について考えるきっかけともなるでしょう。陳列されている案内書等がそのお役に立てば幸いです。

この神の家でおくつろぎください。

あなたに神の祝福がありますように

*Gerhard von Sledright*

ミュンスター司祭 兼 ボン市首席司祭

心からのショッピングを楽しみませんか？

美術、文学、音楽—  
ミュンスター聖堂についてのすべてをお求め  
になれます

Gerhard-von-Are-Straße 1 | 53111 Bonn  
Telefon 0228/2808899 | muensterladen.de



## 聖堂のご案内：

### 聖ヘレナ像①

(身廊の前方) 青銅製。枢機卿フランツ・ヴィルヘルム・フォン・ヴァルテンベルグ伯(旧カシウス修道院の修院長、1629-1661)の寄進による。



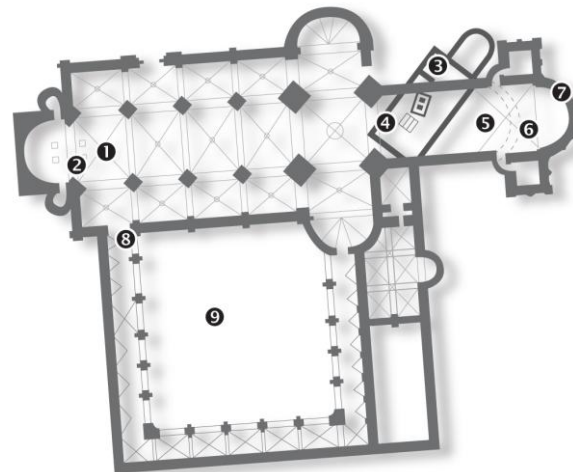
### オルガン②

1961年にクライス社(ボン)が制作。1980/81年、聖堂の改装の際に増設。現在このオルガンは、4つのマニュアル鍵盤とペダル鍵盤に分れて、69本の音栓と512本のパイプを持つ。オークの木から彫られたオルガンケースは、彫刻家マンフレート・ザウルの作品。

### 地下聖堂③

殉教者カシウスとフロレンティウス、その仲間たちの棺がある。上げ蓋が墓への通路を塞いでおり、守護聖人祭(10月10日)の典礼の間だけ開かれる。地下聖堂では、日々祈りのためのミサ聖祭が行われる。

(この聖堂内では静粛をお願いします。お祈りへの参加を歓迎します)



### 新しい方形祭壇④

H. ゲルノーが1980年に銀箔を張ったブロンズで制作。彫り物の入った象牙の小さな板で装飾されている。

### 中央祭壇⑤

建築家ハインリッヒ・ヴィートハーゼが設計して1865年完成。石の彫刻はボンの彫刻家オルゼムが行った。装飾像はエドムント・レナルドによる。

### 後陣内のモザイク⑥

1894年にベニスで作られたこのモザイクの下絵は、フリッツ・ガイゲスによるもの。輝く十字架から伸びる父なる神の腕が、イエス・キリストを指している。大光輪に包まれたイエスは右手を掲げて祝福し、左手には命の書を持ち、足は地球の上に乗せている。香炉を振りロウソクを手を持つ天使たちが世界を裁く者を囲んでいる。マリアが両手を嘆願するように挙げ、洗者ヨハネはイエスを指す。

### 聖歌隊席の画集⑦

19世紀。旧約聖書と新約聖書の場面が対置している。

### ブロンズの扉⑧

(H. ゲルノー作、1977年) 右側が回廊へと通じる。

### 回廊⑨

ゲルハルト・フォン・アレにより、12世紀に建造。三面のアーケードはいまだに保存されている。



建築の歴史や大聖堂の内装について興味をお持ちの方は中央口の右横にある販売機で、2ユーロ50セントの小冊子をお求めください。